

【推薦・応募結果（法人・団体からの推薦）】

受付番号	被推薦者						推薦者（推薦をした団体）				
	氏名	年齢	性別	職業	経歴	農業経営の状況	認定農業者の該当・非該当	団体等名称及び構成員の人数	設置目的	資格その他組織の性格を明らかにする事項	推薦理由
1	石尾大介	51	男	農業	平成17年2月 北海道農業士 平成30年4月 長沼町農民協議会監事 平成31年4月 ながぬま農業協同組合理事 令和4年2月 北海道指導農業士 令和7年4月 ながぬま農業協同組合専務理事 令和7年4月 株式会社FAMO長沼 取締役	水稲・ 畑作・ 施設野菜・ 花卉 14ha	該当	ながぬま農業協同組合 代表理事組合長 柴田佳夫			これまでの農業経験、経歴、職歴等から地域の農業や農業者に精通しているとともに地域の農業者から信任を得ており、指導農業士、認定農業者として農地の効率的利用、水稲ではクリーン生産協議会ゆめびりか部会の部会長として良品質・良食味米の栽培に率先して取り組み、加えて、花きをはじめとした園芸蔬菜のブランド化など農業所得の拡大に向けた取り組みを実践し、精力的に活動を行っている。
2	山下郁美	51	女	団体職員	平成21年4月1日～ 長沼町農民協議会 勤務		非該当	長沼町農民協議会 委員長 前田克彦			長年、農民協議会の活動である農民運動に携わり農家の実情、農業情勢等の問題点を理解している。 また、農業の税業務も行っており土地の売買に関する内容も含めて的確に遂行している。 近隣組織と緊密に連携をとり地域の現状を解っている。 以上の理由から長沼町の農業に寄与していただける方です。
3	尾崎雄二	62	男	農業	平成30年4月 ながぬま土地改良区 第19支線組合長 令和4年4月 ながぬま土地改良区理事 (建設委員)	水稲 21.2ha	該当	ながぬま土地改良区 理事長 菊地 博			土地改良区支線組合長や役員としての経歴もあり、地域の信任を得ており、地域農業や農家情報に精通し農業委員の業務に貢献できると考えます。